

香川県立ミュージアム

新しい展示が始まります

県内に残る貴重な藩政資料！

多度津藩政資料を読むー多度津藩の引越しー

- 1 会 期 令和5年 4月15日(土)～7月10日(月)
開館時間 9:00～17:00
入館は閉館の30分前まで
休 館 日 月曜日(ただし、5/1・7/10は開館)、
6/16～21

- 2 会 場 香川県立ミュージアム 常設展示室1
(高松市玉藻町5-5)

- 3 展示内容 多度津藩は元禄7年(1694)に丸亀藩の支藩として成立しました。多度津藩政資料とは、藩庁で作成された公的な記録類を指します。県内に残る藩政資料群としては、多度津藩のもののみが伝来しており、貴重な資料群です。



「多度津藩政資料」の一部 当館蔵

本展では、膨大な情報が記載されている多度津藩政資料から、多度津藩史において画期のひとつである陣屋の建設に伴う藩庁の移転と藩士の引越しについて、藩政資料を読む中で見えてきた役所や藩士たちが丸亀から多度津へ移る様子を紹介します。

あわせて、会場では藤原佐理^{すけまさ}筆詩懐紙(国宝)を特別公開します(5月7日(日)まで原資料、5月9日(火)からは複製を展示)。

- 4 展示点数 28件 35点

- 5 観 覧 料 一般 410円 団体(20名以上) 330円
特別展観覧券で観覧できます。
高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料

- 6 関連行事 ミュージアムトーク(担当による展示解説)
日時 ①5月7日(日) 13:30～
②7月8日(土) 14:30～ 各日30分程度
場所 常設展示室1
申込 不要、観覧券が必要(参加者数を制限する場合があります。)
学芸講座「多度津藩政資料から見る多度津藩庁移転」
日時 6月11日(日) 13:30～15:00
場所 地下1階研修室
申込 要事前申込、定員50名(定員になり次第受付終了)
申込方法 電話、電子自治体システム(申込開始 5/11～)

(裏面に続く)

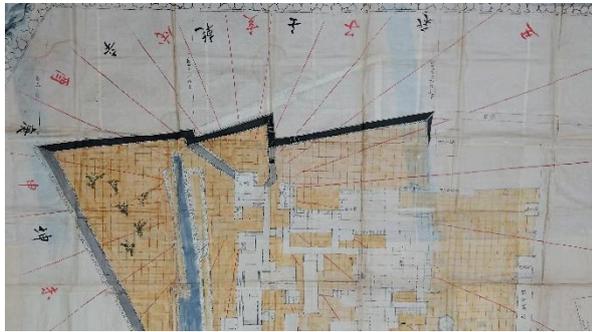
7 主な展示品

たどつはんじんやえず

多度津藩陣屋絵図（部分）

江戸時代

香川県立文書館蔵



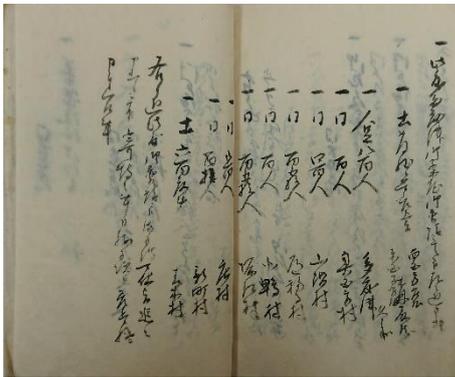
多度津藩陣屋およびその付近を描いた絵図。寛政8年（1794）の林求馬時重^{もとめときしげ}の進言を契機に始まったとされる多度津藩の陣屋移転計画。陣屋が完成するのは文政10年（1827）のことであった。

ぶんかさんねんにつき

文化三年日記

文化3年（1806）

多度津文化財保存会



林家は代々多度津藩の家老職を歴任した家である。林求馬時重が家老を勤めていた文化4年に多度津に御茶屋が完成。前年の日記には、多度津御茶屋建設に関して村々から人足が手配されている様子が記載されている。

こくほう

国宝

しかいし

詩懐紙

すけまさ

藤原佐理筆

安和2年（969）

当館蔵



特別公開！

藤原佐理（944～998）は「三跡」と称された平安時代の書の名人。安和2年に祖父藤原実頼^{さねより}が主催した詩歌会で詠んだ詩を清書したもので、現存最古の詩懐紙。

※4/15から5/7まで原資料、5/9から7/10は複製を展示。